

サナース

サナース(東京・品川、阿部智社長、☎03・6410・8623)はこのたび、サナース・ティングラボ(SST、千葉県富津市)の稼働を開始した。同社における環境ソリューション事業の柱として機能する施設となり、欧州製装置を組み合わせた選別ラインが実際に稼働するようすの見学や、破碎した金属スクラップや自動車シュレッダーダスト、焼却灰などの選別テストを行える。非鉄金属メーカーやその関連業者からの問い合わせを多く受けており、毎日の稼働でも間に合わないほどの注目を集めている。

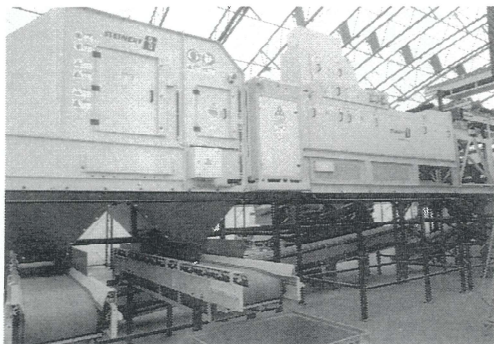
SSTは、同社が提案する重要な選別プロセスである①ストリームマネジメント(定量供給)②スクリーニング(粒度選別)③セグ

見学・実証施設が完成

選別機の実稼働を確認可能



装置を組み合わせた選別ライン



アルミを素材ごとに選別

リゲーション(分別)属センサー・カラーセ④ソーティング(仕分け)の4要素「4」搭載のコンベヤーシステムにおける最適化をシソーター、近赤外線検証できる施設だ。選別機を組み合わせたユバレック社(ドイツ)ラインを見学できる。の定量供給機とSDS、同社によると、SSクリン、ニホット社に設置したシュタイン(オランダ)の風力選別機、シュタイナート社(ドイツ)の過電流選別機、ドフム型磁選機、金属(銅・亜鉛・真鍮)透過X線センサー・金等に分離することに

者に装置の機能を紹介している。木更津マシンパーク(千葉県木更津市)では、約20万点の助金の案内や、数先を相定したフランなどを提案する。また、装置メーカーの技術者が米日した時に、選別を高度化するための研究会を開くなどの取り組みも進めていく。同社はアフターサービス

営業統括本部の雨宮望氏は「業界では人手不足が課題となっており、代替できる作業を機械に任せることも重要になる。中間処理業者のプラントでは、選別機だけでなくさまざまな機械が稼働しているため、当社が取り扱う移動式破碎機やマシン機などを合わせて紹介し、私たちの思う『より効果的な設備プラン』を提案したい」と述べている。

工場系・使用済み製品・金属類